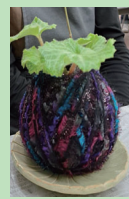


自主講座部会「毛糸を使った苔玉づくり教室」

自主講座部会では、4月10日(木)に講師に熊谷和美先生をお迎えして、毛糸を使った苔玉づくり教室を開催しました。参加希望者が多く、初めて体験する方も「楽しみ」と笑顔でスタートしました。自主講座部員が事前練習をしていたので、きめ細やかなサポートを工程ごとに声掛けしていました。完成に近づくと皆さん笑顔が増えて、和気あいあいとした雰囲気です。「参加して良かった」と嬉しい声が聞こえてきました。部員の陶芸学科卒の方が自作の器を提供され、今回の毛糸の苔玉の器として使用されるという、レイカディア大学ならではのエピソードもありました。最後に自信作と一緒に笑顔の集合写真を撮って終わりました。



毛糸で苔玉が出来るまでの流れ



講師プロフィール
42期園芸学科A卒
物づくりが大好きで、
着付け教室やバラの
挿し木などもされて
います。



完成!!みんな笑顔

体験後のアンケートより
サポートについてくださった方が丁寧に
指導してくださり、良い作品ができた。
とても素敵な苔玉が出来て嬉しいです。

参加者からの一言
初めての体験で楽しみにしています。苔玉に興味があり参加しました。
うまく出来るか不安でしたが、参加して良かったです。

部員と受講生が一体となった楽しい講座でした。取材／岡島・熊谷・花澤

46期各クラスがホームページをアップしました!!



HP作成講座の様子



HP講座を終えて集合写真

46期広報部会員に対するホームページ作成講座が終了し、各クラスのホームページをアップすることができました(右2次元コードから)。サポートの会(広報情報部会)にとって、この講座は重要任務の一つです。1月から3月にかけての寒い時期でしたが、46期各クラスから4名前後が出席され、45期有志も、我々のサポーターとして参加してくれました。46期広報部会の方には、今後、約2年間クラスの学習や行事などを記録してもらうことになります。根気のいる作業ですが、クラスの記録として、また、今後入学を考えている方などへの情報発信として重要ですので、クラスで協力して取り組んでもらえればと期待しています。同時に各クラスの学生の方々も、ホームページを積極的に見て広報部会を盛り立てよう願っています。



HPをアップできた



自主講座部会応援

ホームページ作成講座終了

広報情報部会では、毎月1回、部会の日の午後、活動室において「パソコン何でも相談室」を開いています。ホームページのほか、パソコン・スマホなどに関わる種々の相談を受け付けていますので、在学生に限らず、卒業生の方も積極的に利用してください。その他、広報情報部会では、自主講座部会のパソコン教室の応援にも一部参加しています。 広報情報部会

編集後記:

先輩から引き継いだ本誌も早や3作目となりました。初めはミスなく期限内に発行することで目一杯でしたが、今は少し余裕が出て、チャレンジできるようになりました。今後も部会員一同、力を合わせて頑張りますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。(S.T)

発行: 滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会
編集: 草津キャンパス サポートの会 広報情報部会
〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138
県立長寿社会福祉センター内
TEL: 077-567-3901 FAX: 077-567-3906
http://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html



No.57

2025.5.29

レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています

びわこ地球市民の森 竹林整備等ボランティア活動

レイカディアの日
2025



4月17日、快晴の県営都市公園「びわこ地球市民の森」(守山市)において、サポートの会(地域活動部会)主催で恒例の竹林整備等のボランティア活動が行われました。今年は去年より少し多い165名(在学生有志89名、サポートの会メンバー76名)が参加しました。

今回の取材は「ドローン同好会」米川代表(45期健康づくり学科)の協力を得てドローンでの空撮を行いました。ドローンが飛ぶと「おおっ」とどよめきが上がっていました。動画は右2次元コードから。



地域活動部会乾部会長による開会宣言、サポートの会金田代表挨拶、そして「びわこ地球市民の森」森づくりセンター平塚所長による作業説明の後、7班に分かれ、竹林と雑木林の間伐作業に取り掛かりました。竹林では竹切り役、運搬役に分かれ皆でテキパキと動き、雑木林では、硬い木を数人共同して汗まみれで切り倒していました。こうして休憩をはさんで1時間半ほどの作業はあっという間に終わり、お楽しみの昼食。予算に苦労されたという特注弁当は「おいしかった」と評判でした。午後は昨年同様「モリック」というゲーム(「モルック」の地球市民の森版)で楽しみました。皆、和気あいあいとプレーし、自分たちも独自にモリックを企画しようという声も出るほど大盛況でした。最後に平塚所長から風通しの良い森林環境になったとのこと言葉をいただき、無事に活動を終えました。 体験取材／竹脇・中村・八田



大学祭 2025

楽しもう 輝こう この瞬間(とき)を

7月24日(木) 前日準備
25日(金) 一般公開(10~15時)
26日(土) 一般公開(10~12時)

レイカディア大学紹介動画2025年版完成

事務局との協業により、サポートの会(広報情報部会)が8年ぶりに大学紹介動画を更新しました。今回の大きな特徴は下記のとおりです。

- 1) ドローン同好会による大学の空撮動画を背景に、大学の歩み及び特徴を追加。
- 2) 大学の大きな特徴である、卒業生を中心とした下記3団体のボランティア活動を追加。
①同窓会・②サポートの会・③えにしの会
是非、動画をご覧頂き知名度向上にご協力を!



滋賀県レイカディア大学は、シニアが新しい

早花月 声楽アンサンブルコンサート [びわ湖ホール]

取材



全員での合唱は素敵でした



進行役の女性歌手

テノールソロ歌唱、迫力！



1階も2階も満席に近い状態

3月28日、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにて、「早花月（さはなづき）声楽アンサンブルコンサート」が開催されました。レイカディア大学両キャンパス在学生の交流、コロナ禍で、校外活動が制限されていた卒業生も共に楽しんでほしいとの思いから事務局で企画されました。

びわ湖ホール声楽アンサングルの皆さんの圧倒的な歌声と豊かな表現で、歌曲や世界の歌、そして「レイカディア大学讃歌（校歌）」「江州音頭」など多彩なステージに終始感動したひと時でした。また、在学生のリクエストによるステージでは、メッセージが紹介された後にリクエスト曲が歌われ、それぞれが懐かしい思い出と共にノスタルジーに深く浸った時間となりました。

参加された皆さんの感想は・・・

「感動した。びわこ花火大会を彷彿とさせる内容だった」「すごい声量の歌声でとても良かった。最後のアンコール曲の“椿姫”がとても良かった」「辛かったことを思い出し涙が出そうになりました。今はレイ大で楽しくやっているので、これからもできることはいっぱいやっていこうと思いました」・・・などなど。

レイカディア大学ゆかりの人達が集い、絆を深めることができた素晴らしい機会となりました。

取材／岡島・佐々木・竹脇・中山・花澤

クラブ紹介

城郭探訪会

寄稿

城郭探訪会は草津・彦根両キャンパス合同のクラブとして活動し、現在両キャンパス合わせ136名（45期生83名、46期生53名）で構成され、「城郭を探訪し、歴史や民族について学ぶとともに会員相互の親睦を図り、活動を通じて社会に寄与する」ことを目的に活動しています。

近江の国には1300あまりの城郭があり、それらを月一回程度例会として探訪しています。設立以来、令和6年9月までに117回の例会を実施し、延べ5000名以上が参加しています。会の運営に当たっては毎月、役員会を開催し、安全な会の運営と会員間情報共有を図っています。



12月 桜生史跡(野洲市)



1月 多喜山城跡(栗東市)

10月以降の新体制における例会では草津キャンパス立案8回、彦根キャンパス立案5回合計13回計画し、既に6回実施済みです。例会実施に当たっては、当番の学科が下見実施、ガイドとの調整、例会の案内・参加者の把握、例会当日の運営を行っています。例会の準備に当たっては中井均先生の「近江の山城」シリーズ本を調べ、観光ガイドさんの解説を聞き、近江の歴史や文化へ理解を深めてきました。観光ガイドさんにはレイ大OBの方が多く、ある探訪先では「私は城郭探訪会のOBです」との紹介があり、非常に驚くとともに、楽しい一時を過ごせました。

現時点でも、続々と城郭探訪計画が立案されています。今後も新しい出会いと発見を楽しみにしながら、城郭めぐりに参加していきたいです。 城郭探訪会会長 坂下 茂（45期地域文化学科）



新善光寺(栗東市)



和中散本舗(栗東市)

学科紹介

46期 びわこ環境学科

寄稿

私たち46期びわこ環境学科のメンバーは、身近な湖畔や里山を愛し、環境に興味もあって、自然のものが好きな仲間たち、好奇心も旺盛な総勢22人です。いつも誰とでも声を掛け合う、和気あいあいとした楽しいクラスです（入学後5か月間で様々な事情から5人の仲間が退学したのはさすがにショックでしたが）。

2月にはMLGs（マザーレイクゴールズ）のロゴ入りクラスTシャツも完成し、5月のニュースポーツ大会や7月の大学祭を成功させたいというみんなの意気込みを日々感じています。クラスを盛り上げるLINEという文明の利器に感謝しながら、環境情報、観光だよりなど、時には独り言やぼやきもありますが、学びと遊びをみんなで共有しています。



バイオディーゼル燃料を作ったフラスコを前に集合写真（あいとうエコプラザ）



バイオカートで目指せカーボンニュートラル（あいとうエコプラザ）

お揃いのクラスTシャツ



目からウロコの、採卵体験（醒ヶ井養鱒場）



一時は観察されなかった「琵琶湖の深呼吸」（全層循環：表層の酸素を湖底層に届ける動き）が今年も確認できたとの滋賀県の発表（2月）がありました。びわこ環境学科では、環境学習や自然観察を通じて、県民にとって最も大切なこうした湖の営みを守るため、私たちの日常にどうつなげていけるか、何ができるかを考えていきます。

46期びわこ環境学科 学科長 木村 久美子

学科紹介

46期 地域文化学科

寄稿

シニア世代の学びへの意欲が高まり、46期地域文化学科の応募は、定員25名に対し応募者49名、実に1.96倍の狭き門で入学させていただきました。入学後、学ぶことに喜びを感じ学生時代を思い浮かべ、生き生きと学習に意欲を燃やす学友の姿に感動し、素晴らしい機会であると改めて思いました。

新たに会った学友どうしが、垣根を取り払って遠慮なく和気あいあいと語り合い、和やかな楽しいクラスを思い切りエンジョイしています。新たな学びへの再挑戦を目指す姿や授業初日より新しい友を見つけ、また見つけ出そうとしている学友の姿が、未知への再挑戦なんだなあと思いました。まさしくピカピカの一年生の如く再出発であります。そして、地域社会や職場環境の中で経験した数々の事象の集大成であると思っています。



柏原宿の街並み



柏原宿歴史館



授業風景



校外学習 柏原宿(米原市)

地域文化学科の学習は、多方面にわたります。地域社会での幾多の歴史文化、交錯する新旧の事象をゆっくり時間をかけて紐解いて、また新たな事柄への挑戦になればと思います。60～80歳となる学友たちと自分たちの人生、原点に戻ったり進んだりしながら明日への力が発揮できる雰囲気づくりが必要です。

♪人生いろいろ ○○○もいろいろ♪ とロクさみながらの人生学習でありたいと思います。歩みを一步一步前進させる気持ちで！！

46期地域文化学科 学科長 桐山 輝雄